学校だより
三年先の稽古
発行：校長　益子　朗

目指すべき生徒像
体　鍛える大信中生
徳　温ったか大信中生
知　学ぶ大信中生

全校一斉に、計算コンテスト！

去る11月13日(火)6校時、全校生が計算コンテストに臨みました。3年生は目の前に迫った高校入試に直結する学力ですし、2・1年生は基礎的な計算力を身につけなければ、当然応用力などには手が届きません。

できるだけ多くの問題を解く他に、**「数学に王道なし」**です。

地元白河で躍動

福島県新人バドミントン大会

去る11月10日(土)・11日(日)と、白河中央体育館で福島県新人バドミントン大会が行われました。本校からは団体(県南1位)と個人シングルス1名・ダブルス2組が出場しました。残念ながら団体戦と個人ダブルスは惜しくも初戦で惜敗しましたが、**シングルスの庄司悠平選手が1回戦を突破し、2回戦ではフルセットの末敗れたものの、ベスト16**という結果を残しました。チームにとっても個人にとっても来年度につながる健闘でした。

来年8月7日(水)～9日(金)には、同じ会場で東北中学校バドミントン大会が行われます。東北6県を勝ち抜いた強豪チームが白河にやってきます。出場枠は団体・個人とも各県3位までと狭き門ですが、大信中としては、地元校としてなんとしても東北大会出場を成し遂げたいものです。また開催地ですから、補助役員としても頑張って大会を成功させなければなりません。**頑張れ、バドミントン部！**

健闘した庄司悠平選手

ようこそ後輩！

11月14日(水)、大信地区の3つの小学校から6年生37名が大信中学校にやってきました。来年4月の入学を前に、中学校について実際に自分達の目で見て知ってもらうためです。

当日は全体会で中学校生活についての説明の後、3年生の部活動を回りました。2月に新入生保護者説明会がありますが、その時期は寒く、雪も予想され、特に外の部活動は見学が難しいので、まだ暖かさが残るこの時期に部活動を見学してもらいました。なお2月には授業を見てもらいます。

先輩諸君、後輩に頑張っている姿や、部活動の魅力を伝えられたでしょうか。4月からは君たちの大切な仲間です。

6年生には、少しでも中学校生活のよいイメージを膨らませ、夢と希望を持って大信中学校に入学してほしいものです。

校長のつぶやき

先日の県大会の会場で、県のバドミントン協会の理事長さんとお話しした際、**本番に強い選手と弱い選手の違い**は何かという話題になりました。確かにどんなスポーツでも、大舞台に強く実力を出し切れる選手と、出し切れない選手がいるようです。

折しも先日の卓球のワールドツアーでは18歳の伊藤美誠選手が、またフィギアスケートのNHK杯では16歳の紀平梨花選手がそれぞれ優勝しました。伊藤選手は世界ランク上位を独占する中国選手をことごとく破っての大金星。また紀平選手はトリプルアクセルを2回成功させての大逆転優勝でした。自分より実力上位の選手を立て続けに破ったり、練習でもなかなか成功しない技を2度も成功させたりするのは並大抵のことではありません。

なぜ彼女たちは本番に強かったのか。一つ言えることは、たとえ相手がどんなに強くても、たとえどんなに難易度が高い技でも、本番までの練習で「自分はやれるだけやった」という納得や充実感があれば、自信を持って本番に臨めるのではないかということです。つまり、相手に勝てるかどうかではなく、**「自分はできる」という自信が大切**だということです。勿論、自分の力を百%出し切ったとしても、もし相手が自分を上回れば勝てません。彼女たちは力を出し切った上で結果としてライバルに勝ち、優勝することができたのです。また、仮に結果として敗れたとしても、力を百%出し切って敗れたのであれば、悔しさはあるものの、納得はできるでしょう。

NHK杯で優勝した紀平梨花選手

スウェーデンオープンで優勝した伊藤美誠選手

「信は力なり」といいます。自分を信じられるまで努力することが大切だと思います。